

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

Vena Global Group Pte. Ltd.（証券コード：－）
（旧 Vena Energy Holdings Pte. Ltd.）

【据置】

外貨建長期発行体格付	A－
格付の見通し	安定的

Vena Energy Capital Pte. Ltd.（証券コード：－）

【据置】

外貨建長期発行体格付	A－
格付の見通し	安定的
MTNプログラム格付	A－

■ 格付事由

- (1) Vena Group はシンガポールに本社を置き、アジア太平洋地域を中心に再生可能エネルギーおよびデジタルインフラ事業を展開する大手グリーンソリューションプロバイダー。7 カ国に合計 130 件の再生可能エネルギープロジェクトの所有・開発・建設・運営・管理・商業化を行い、25 年 12 月末の総資産は 70 億米ドルに上る。Vena Group は、Vena Global Group Pte. Ltd.（「Vena Global Group」）、Vena Energy (Taiwan) Holdings Pte. Ltd.、Zenith Japan Holdings Ltd の 3 社（「Guarantors」）およびその子会社から構成される。なお、Zenith Japan Holdings Ltd は Zenith Japan Holdings Trust の受託者である。Vena Energy Capital Pte. Ltd.（「Vena Energy Capital」）は債券発行を目的として設立された特別目的会社（SPV）であり、19 年 11 月に Guarantors と共同で設定した MTN プログラム下で発行される社債の元利払いは Guarantors に連帯保証されている。Vena Global Group と Vena Energy Capital の発行体格付および MTN プログラム格付は、Guarantors の信用力を反映している。
- (2) Guarantors の信用力は Vena Group の堅固な事業基盤や高い開発・運営能力のほか、長期売電契約（PPA）に基づくプロジェクト子会社（OpCos）からの安定した配当収入、継続的な資産規模の拡大やポートフォリオの分散度合の高さによるキャッシュフローの安定性に支えられている。操業資産の積み上がりを背景に 25 年の発電量は前年比 7% 増と増加した。OpCos から Guarantors への配当も順調に増加している。これらを勘案すると、Guarantors の債務支払いに対して十分なキャッシュフローを維持可能とみている。以上から、Guarantors の信用力は引き続き「A-」相当と判断し、本件対象の格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) Vena Group のメイン・スポンサーは BlackRock 傘下の世界有数のインフラ投資ファンドの Global Infrastructure Partners (GIP)。Vena Group の 25 年 12 月末ポートフォリオは操業中 3,591MW、建設中 2,084MW、契約済み 4,336MW の合計 10,011MW となり、24 年 12 月末から +1,322MW 拡大した。案件の開発は着実に進捗している。開発パイプラインは約 31GW と豊富にあり、蓄電システム、データセンターを含む周辺分野にも展開している。発電源構成比（発電量ベース）は太陽光 64%、風力 36%、事業地域も分散している。操業中の PPA の残存期間は容量加重平均で約 16 年あり、キャッシュフローの安定性は高い。さらに、ポートフォリオの拡大に伴い、分散効果によるキャッシュフローの一段の安定が期待できる。
- (4) 25/12 期の Vena Group の売上高は前年比 10% 増の 590 百万米ドル、EBITDA は同 9% 増の 383 百万米ドルとなった。24 年中に操業した資産の通期寄与を主因に、増収増益となった。Guarantors の配当収入に相当する FFOA（Funds from Operational Assets）の 25 年は 178 百万米ドルと前年比 19% 増となり、ネット有利子負債/FFOA は当社の財務目標内の 2.5 倍、FFOA/利払は 12.9 倍と良好な財務健全性を維持した。Guarantors

のキャッシュフローは、開発・建設投資に伴い短期的に変動し得るが、中長期的には資産の操業開始や資本回収を進めることで、債務返済に対して十分なキャッシュフローを維持できるとみている。また、当面の資金需要に対応するための十分な現預金と RCF の未利用枠を確保しており、良好な流動性を維持している。

(担当) 増田 篤・上野 倫久

■格付対象

発行体：Vena Global Group Pte. Ltd.

【据置】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	A-	安定的

発行体：Vena Energy Capital Pte. Ltd.

【据置】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	A-	安定的

プログラム名	Guaranteed Euro Medium Term Note Programme
発行限度額	10 億米ドル相当額
プログラム設定日	2019 年 11 月 26 日
ステイタス	無条件・非劣後・無担保の債務で、他の無担保債務と同順位
信用補完等	Vena Global Group Pte. Ltd.、Vena Energy (Taiwan) Holdings Pte. Ltd.、Zenith Japan Holdings Ltd (as trustee of Zenith Japan Holdings Trust)による保証
特約条項	ネガティブ・プレッジ条項、クロス・デフォルト条項
格 付	A-

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年8月31日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：杉浦 輝一
主任格付アナリスト：増田 篤
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「プロジェクトファイナンス」（2026年4月1日）、「インフラファンド」（2018年1月25日）、「シンセティックCDO」（2019年9月24日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) Vena Global Group Pte. Ltd.
Vena Energy (Taiwan) Holdings Pte. Ltd.
Zenith Japan Holdings Ltd
Vena Energy Capital Pte. Ltd.
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した資産内容、契約、業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

MTN プログラム格付：プログラム格付はプログラムに対する信用格付です。個別のノートの信用力はプログラム格付と同等と判断されるケースもありますが、クレジット・リンク・ノートやエクステンジャブル・ノートなど、元利支払いが第三者の信用状況に依存するノートなどではプログラム格付と異なると判断されることもあります。JCRでは、発行体から依頼がある場合などを除き、通常、プログラムに基づき発行される個別のノートに対する信用格付は行っておりません。

■NRSRO 登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル